

**土砂災害が発生した場合
避難所の指定基準は**

◎ 線状降水帯や土砂災害警戒情報が発生した場合、防災無線の運用基準や開設する避難所の指定基準は。

△ 町長 豊頃町地域防災計画において、気象庁の発表に基づき、避難指示を発令した場合は、速やかに防災無線などで町民の皆さんに周知します。

◎ 避難場所・避難所は、町内31か所を定めており、津波、洪水、土砂災害などの災害特性や避難動線を考慮しながら、適切に配置しています。

◎ 今回のような大雨災害の場合は、降水量や河川の水位、土砂災害のリスクなどを総合的に判断して、予想される被害規模に応じて避難所の開設場所などを判断します。

◎ 9月の大雨当日の対応は。

△ 総務政策課長 9月21日午前3時10分、気象庁から土砂災害警戒情報が発令されましたが、総合的に勘案し、避難指示



もしもに備えて
ハザードマップや
避難所情報を確認
願います。



こどもプラザ付近では、林地の地すべりが発生

等は発令していません。したがって、防災無線などで周知は行いませんでしたが、自主避難を想定して、える夢館に避難所を開設しました。

◎ 豊頃町地域防災計画を確認すると、土砂災害の場合、茂岩地区の対象避難所にえる夢館は指定されていません。

◎ 役場前に土砂が流れた跡もあったが、える夢館に避難所を開設した理由は。

△ 町長 今回は想定を上回る大雨で、夜中、私が役場に向かうときも茂岩市街の道路が冠水して通行できませんでした。

◎ 北海道開発局に連絡し、下牛首別排水機場を稼働してもらい、明け方には水が大分引ききました。

◎ 災害の状況によって、開設する避難所について考えながら進めていかなければならないと今後の教訓となりました。

◎ 国、北海道など関係機関と連携し、迅速に対応することともに、地域で自主防災組織の取組を進めていかなければならないと思います。

**被害状況の情報収集
迅速化に向けた取組は**

◎ 被害状況収集の現状と迅速な情報収集に向けた取組は。

△ 町長 災害対策本部を設置した場合、施設部や産業部の職員が現地調査を行います。町民からの連絡対応は情報部の職員が担当します。

◎ 現地の被害状況については、職員個人の携帯電話から画像や

動画などを災害対策本部へ送り情報共有しています。

◎ 今年度の災害対応を振り返ると、職員間の情報共有の円滑化が課題として挙がっており、今後、迅速に情報共有できる手段の導入を検討します。

◎ また、町民の皆さんから情報提供してもらう仕組みは必要だと認識しています。

◎ 災害発生時には情報が短時間に殺到するため、重要度や優先度を明確にして、現場の混乱を最小限に抑える工夫が必要だと考えます。

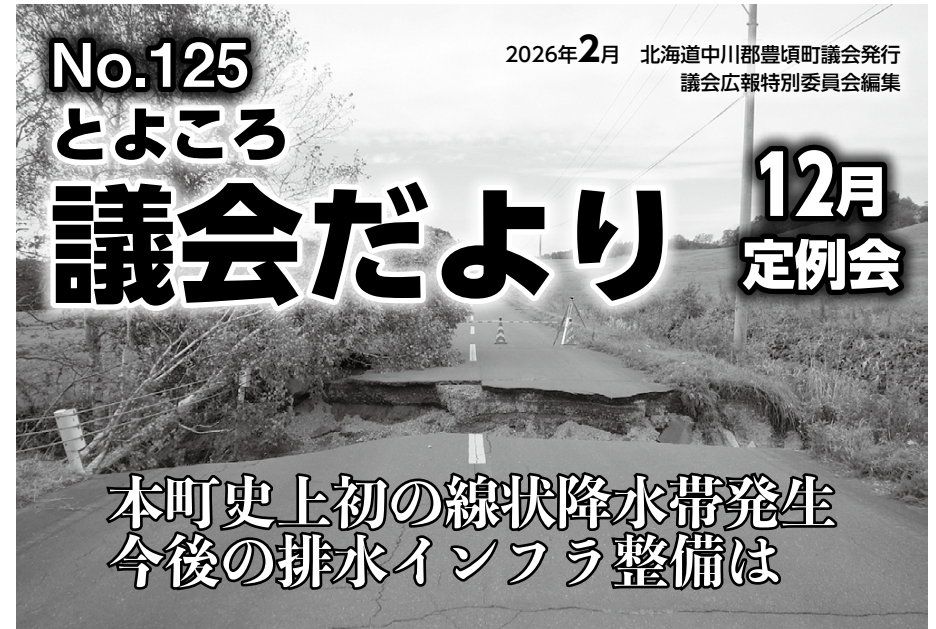
◎ 今後、町公式LINEなどの活用について前向きに検討したいと思っています。

定例会あらし

令和7年第4回定例会は、12月9日から開会しました。

1日目は、議案審議8件と人事同意案2件を原案のとおり可決、同意しました。

15日 最終日は議案審議2件、議員発議1件を可決したほか、2名の議員が一般質問を行いました。



記録的豪雨は町内各地に大きな傷あとを残しました。写真は町道豊頃11号線道路崩壊のようす。

一般質問

令和7年9月、本町史上初となる線状降水帯が発生し、道路崩壊など甚大な被害が発生しました。

◎ 短時間の集中豪雨を想定した排水インフラ整備について小笠原議員が一般質問を行いました。

**排水設備の維持管理
現状と課題は**

◎ 市街地の排水設備の維持管理の現状と課題は。

△ 町長 町道のパトロールで変状を確認したときに、土砂の除去や清掃などを適宜行っています。

◎ 本町の排水施設は、こう配がゆるやかな箇所が多いため、土砂の堆積を防ぐには日頃から維持管理が重要だと考えています。

**集中豪雨を想定した
排水インフラ整備は**

◎ 短時間の記録的な大雨を想

定した雨水排水の設計雨量の見直しは。

△ 町長・施設課長 町道の設計は、北海道が策定した道路事業設計要領に基づき行っています。3〜10年に一度の確率で降る大雨を想定して設計しています。

◎ 10年確率を採用した場合、1時間に29ミリの大雨を想定して設計しますが、9月の豪雨は、1時間に60ミリを超えるものでした。

◎ 今後、排水施設を更新するにあたり、今回の雨量を完全に排水する能力のものにすることは簡単ではありませんが、機能の向上を図るため、より良い方法を検討したいと考えています。

◎ また、国や北海道に道路整備に関して要請していく必要があると思います。



おがさわら げんき 議員
小笠原 玄記 議員

Q 報徳館の体制と神楽の保存は

A 運営規則の整備と伝承体制の再構築を支援

藤田議員は、二宮報徳館の利用促進と町文化財の保存活用2項目について、一般質問を行いました。

二宮報徳館 今後の体制づくりは

Q 二宮報徳館改修後の来館者数や利用の状況は。

A 教育長 来館者数については、令和7年4月から11月末までの間で192人、前年と比べて7割増えました。

大津・十勝川学会をはじめ、道内外の大学や自治体の方が研究などで来館されています。

Q 展示の充実や学習プログラムの導入など、今後の方針は。

A 教育長 二宮報徳館は学術的な研究利用の場でもあるた

め、学芸員等の専門的な知見で資料の保存や修繕をすすめていかなければならないと考えています。

学習プログラムの導入については、義務教育9年間で目指す子ども像に「報徳のおしえ」を位置付け、各学年における指導案を記録化し、蓄積・共有する仕組みが必要だと考えています。

今後の整備方針については、今年度の冬期間に、入口の段差を解消する予定です。また、次年度は入館当時の様子を伝えるパネルの設置などを検討しています。



二宮報徳館の改修委員
会レポートもご覧ください。

Q 広報など情報発信の強化は。

A 教育長 町ホームページの



令和7年9月に奉納された
二宮獅子舞神楽

更新頻度が低く、施設の魅力が伝わりにくいのが現状です。利用案内や展示内容のPRのほか、ホームページの見やすさの向上などを検討しています。

Q 施設管理のための条例などの整備は。

A 教育長 町文化財保護審議会に諮問した上で、来館者や寄贈者へ適切な対応を図るため、運営の明確化と取扱いの透明化など規則の整備をすすめます。

町文化財の保存と 教育的活用は

Q 十勝発祥の地である我が町

の歴史を伝える施設は「える夢館歴史の森」と「二宮報徳館」の主に2つ。利用状況は。

A 教育長 町内小中学校と連携して、展示見学や歴史資料を活用した授業づくりを支援しています。また、今年度は町内教職員を対象に報徳のおしえに関する研修会を開催しています。

Q 町指定文化財である二宮獅子舞神楽が令和7年で区切りを迎えた。今後の保存方針は。

A 教育長 二宮獅子舞神楽は地域固有の民俗芸能であることから、まずは地域での体制づくりが重要だと考えます。その上で教育委員会として伝承体制の再構築など関係機関と連携しながら支援してまいります。



ふじた ひろのり
藤田 博規 議員

正算 補予

物価高騰対応を早急に実施 おこめ券配布 水道基本料金減免など

昨今の物価高に対応するため、物価高対応子育て応援手当（子ども一人当たり2万円給付）のほか、町独自の事業として、おこめ券配布や水道料金減免などの補正予算が提出され、原案とおり可決しました。

補正予算の主なものについてお伝えします。

物価高対応子育て応援手当 640万円

0歳から18歳に達する年度の子どもを養育する保護者に対し、子ども1人あたり2万円の手当を支給。

水道基本料金減免事業 2,242万円

令和8年1月使用分から6か月間の水道基本料金減免など。※予算は翌年度繰越分も含みます。

おこめ券贈呈事業 750万円

一世帯あたりおこめ券10枚（4,400円相当）を贈呈。

Q 小笠原議員 従来のおこめ券よりも手数料の安い臨時券が発行されると報道されているが、本町対象のおこめ券は臨時券か。

A 町長 1月中旬にJA全農または全米販から発行される臨時のおこめ券が対象です。臨時券が発行され次第、全世帯に配布します。

公共ポイント事業用景品 150万円

使用機器の更新のため、公共ポイントカードが新しくなることから、新たに登録した方を対象に公共ポイント3,000ポイントを付与。

秋サケ資源増大緊急支援 事業交付金 690万円

管内さけ・ます増殖事業の特別会費分を軽減するため、事業者へ交付金を交付。

子ども・子育て支援金制度 改正対応システム改修 110万円

令和8年4月から後期高齢者医療保険料に、子ども・子育て支援金を上乗せして徴収するため、システム改修を実施。

※子ども・子育て支援金制度とは、子育て施策の拡充に充てるため、全世代から公的医療保険料に上乗せする形で支援金を拠出する仕組みです。

そのほか令和7年人事院勧告等に伴う職員人件費の補正などがありました。

各会計の 補正額

※1万円未満は四捨五入しています。

		補正額	予算総額
一般会計	第7号	8,364万円	62億 3,938万円
	第8号	3,010万円	
	国民健康保険	39万円	
	介護保険	2,796万円	
後期高齢者医療	第1号	8万円	8,014万円
		補正額	予算総額
簡易水道	第5号 (収益的支出)	645万円	3億 5,841万円
	第6号 (収益的支出)	18万円	
公共下水道	第1号 (収益的支出)	708万円	2億 3,571万円

いづれでも通園制度 4月から開始

生後6か月から対象 就労要件問わず時間単位で利用可能

条例制定、改正

▼豊頃町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
乳児等通園支援事業制度（いづれでも通園制度）が令和8年4月から開始されるにあたり、運営基準などを定めた条例が提案され、原案どおり可決しました。

子ども誰でも通園制度とは、生後6か月から満3歳未満の保育所等に通っていない子どもを対象に、保護者の就労要件を問わず時間単位で利用できる新たな通園制度です。

◎ 小笠原議員 この制度は、茂岩保育所と大津保育所の両方で利用できる

▲ 福祉課長 この制度は町内の保育所に通っていない子どもを対象に実施するもので、茂岩保育所を受入施設として予定しています。

◎ 1日あたりの受入可能人数は。

▲ 福祉課長 午前8時30分から午前11時30分までの間、1日あたり3人程度の受入を想定しており、子ども1人につき月10時間まで利用できます。

▼豊頃町議会議員及び豊頃町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
国政選挙における選挙運動用ビラ等作成の公費負担が引き上げられたことに伴い、町議会議員及び町長の選挙運動用ビラ・ポスターの作成費用の上限額を引き上げる改正を行うもの。

原案どおり可決しました。

人事案件

▼豊頃町固定資産評価審査委員会委員の選任について
現固定資産評価審査委員会委員の吉村和敏氏及び熊野幸雄氏を再度選任するもの。

原案のとおり同意しました。

豊頃町議会のあり方調査特別委員会を設置 議員定数や議員報酬などについて調査します

特別委員会設置の経緯について

人口減少や少子高齢化が進むなか、また、社会構造や働き方、価値観などが大きく変化するなかで、町民の皆さんの多様な考えや意見をまちづくりで反映させていくために、議会はどういう姿であるべきでしようか。

また、現在、全国の町村議会が活発に議論されていますが、議員のなり手不足は本町議会においても非常に重要なテーマです。

特別委員会の構成について

議長を除く8名の議員で構成されます。

- 委員長…坂口 尚示
- 副委員長…藤田 博規
- 委員…大谷 友則
- 委員…大崎 英樹
- 委員…杉野 好行
- 委員…岩井 明
- 委員…後藤 孝大
- 委員…小笠原 孝記

※中村純也議長はオブザーバーとして特別委員会に出席します。

議会の動き

10/30

十勝町村議会議長会
議員研修会に参加

幕別町民会館で開催され、議員8名が出席しました。
スペースコタン株式会社代表取締役社長兼CEOの小田切義憲氏を講師に迎え、「宇宙産業が拓く十勝地域の可能性」と題し、宇宙産業を核とした地方創生について学びました。



議員研修会のようす

令和7年第3回臨時会（10月30日）

9月大雨被害 災害復旧予算を可決

9月の大雨災害復旧のための補正予算などが提案され、全て可決しました。

▼専決処分の承認（令和7年度豊頃町一般会計補正予算（第4号））
緊急の災害補修等を行うため、町長が専決処分した補正予算を原案のとおり承認しました。

▼専決処分の承認（令和7年度豊頃町簡易水道事業会計補正予算（第3号））
災害対応に要する予算として町長が専決処分した補正予算を原案のとおり承認しました。

▼令和7年度豊頃町一般会計補正予算（第5号）
歳入歳出それぞれ1,900万円を追加するものです。
主な補正内容は、災害復旧費1,450万円など。

そのほか、町長が専決処分した工事請負契約の変更について報告がありました。

令和7年第4回臨時会（11月25日）

人事院勧告に基づく 給与条例改正など可決

人事院が勧告した国家公務員給与と改正が閣議決定されたことから、給料表の増額改定や期末手当等の率の引き上げなどを含む給与条例の一部改正が提案されました。

いずれも原案のとおり可決しました。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正
職員の期末手当、勤勉手当の率をそれぞれ0.025か月分引き上げ。

職員給料表について、若年層に重点を置きつつ、各級平均2.8パーセントから5.2パーセント引き上げ。

その他通勤手当、宿日直手当の額の改正など。

▼豊頃町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
正職員の月例給及び手当の改正に準じて改正するもの。

▼豊頃町議会議員の議員報酬及

び費用弁償等に関する条例の一部改正

▼豊頃町特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正
議会議員及び町長など特別職の期末手当の率を0.05か月分引き上げるもの。

漏水修繕のため 専決処分を承認

令和7年10月に中央新町の礼文内川堤防下を通る水道本管から漏水が確認されました。

漏水が拡大すると、豊頃地区全域で断水が発生するおそれがあり、早急に修繕するため、町長が補正予算を専決処分しました。

いずれの補正予算も承認しました。

▼令和7年度豊頃町一般会計補正予算（第6号）
簡易水道事業会計補助金支出のため、歳入歳出それぞれ1,000万円を追加するもの。

▼令和7年度豊頃町簡易水道事業会計補正予算（第4号）
管路等修繕料など、収益的収入及び支出にそれぞれ1,000万円を追加するもの。

委員会レポート

町の課題を調査・研究しています。
概要をお伝えします。

総務文教常任委員会 書かない窓口システムを調査

11/10

令和7年1月から運用を開始した「書かない窓口システム」の導入成果について調査しました。

書かない窓口とは、マイナンバーカードなどの本人確認書類を機械で読み取ることで申請書を自動で作成する仕組みのことです。

これまで5分から10分程度かかっていた手続が、1～2分でできるようになり、来庁者、窓口対応職員双方の負担が軽減されていることを確認しました。

委員からは、書かない窓口システムと事務処理システムを連携することで、更に負担を軽減できるのではないかといった意見が出ました。



書かない窓口システムを操作体験

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。
町のホームページや町図書館で閲覧することができます。

問合せ先
議会事務局
☎574-2222

会議録のページは
こちらから



議会日誌

令和7年12月	令和8年2月
5日 議会運営委員会 第4回定例会（1日目） （補正予算ほか）	17日 議員全員協議会 豊頃町議会のあり方調査 特別委員会
9日 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 議会運営委員会 第4回定例会（2日目） （一般質問ほか）	25日 一部事務組合議会定例会 （帯広市） 議会運営委員会
15日 議会広報特別委員会 （一般質問ほか）	26日 議会運営委員会
令和8年1月	令和8年3月
13日 議会広報特別委員会 令和8年第1回臨時会 職員全員協議会 豊頃町議会のあり方調査 特別委員会	3日 令和8年第1回定例会 （補正予算、条例改正ほか） （1日目） 議員全員協議会 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第1回定例会（2日目） （当初予算ほか） 第1回定例会（3日目） （一般質問ほか） 議会広報特別委員会
19日	10日
	12日